

流域1万人だより 061～070

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

061. 福田公民館(甘木市) (2004.12.21)
062. 合川校区公民館(久留米市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.22)
063. 中央公民館(三井郡北野町)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.25)
064. 三花公民館(日田市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.26)
065. 関地区集落センター(日田市夜明地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.29)
066. 柴刈校区公民館(田主丸町)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.02)
067. 三芳公民館(日田市三芳地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.08)
068. 上手町公民館(日田市西有田地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.09)
069. 高瀬公民館(日田市高瀬地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.10)
070. 坂井町公民館(日田市西有田地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.12)

流域1万人だより VOL.61

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

12月21日(火)に福田公民館(甘木市)にて 甘木市福田地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」を実施中です。今回は12月21日(火)に福田公民館(甘木市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

『今日の一言』

昭和生まれは川で育った！

| | |
|-----------|-----|
| 地域名 | 甘木市 |
| ①. 代表者懇談会 | |
| 2. 住民懇談会 | |
| 出席者 | |
| 国 | 3 |
| 県 | 1 |
| 町 | 0 |
| 住民 | 11 |

主な意見

【昔の筑後川の思い出について】

今の子どもは川では遊ばない。昔は神社と川は遊び場だった。川で遊んでいても大人もいたので安心だった。昭和生まれは川で育った！濁流でも材木につかまったりして泳いでいた。昔は水がきれいでもエビ、オノコ、ヤマタロウガニがたくさん捕れていた。喉が渴いたら川の水を飲んでいた。今は水が汚くてとてもできない。昔は川岸に牛が沢山つながれていた。

【河川空間の使用について】

堤防には桜の木は植えてはいけなと言われていた。現在は植えることができるのか？近頃では川で釣りができなくなった。釣りをしていると漁協がやってきて文句を言われる。川で遊べと言われても、漁協から文句を言われる。矛盾しているのではないか。楽しみでやるのならいいじゃないか。親水性を排除しているのは漁業権だ。

【河川整備について】

金丸橋から下流、入江神社の所や小田堰の所は堤防が低くて危ない。10年前から要望している。幅幅はもちろん必要だが、とりあえずの応急処置をして欲しい。堤防道路が狭いので広くして欲しい。蜷城から小田橋まで堤防が繋がれば道路として利用できて便利になる。二俣川から佐田川へ雨水を排水する排水溝をつくって欲しい。現在は取水のみの機能である福田第1樋管に排水機能を加えて欲しい。

【水辺の環境について】

佐田川のヨシはなんとかならないだろうか。刈って水の流れをよくして欲しい。ポリエステルやプラスチックなどを上流から流して捨てている。拾ってもきりがない。子どもが遊べるような河川環境にして欲しい。川におりる場所がない。川に入っても岸にあがれない。川は危険だというイメージがある。学校にプールができ、洗剤が普及してからそのイメージが定着した。

【その他】

川の中の井手はなくしたいと聞いたことがある。井手は今後どうなっていくのか。

地域代表者懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 62

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月22日(金)に合川校区公民館(久留米市)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、50名の住民の方から活発な意見が出されました！！

『今日の一言』
 昔の筑後川にはロマンがあった！
 街灯やベンチを設置すれば、筑後川に恋人達も訪れる！

| | |
|-----------|----|
| 地域名 久留米市 | |
| 1. 代表者懇談会 | |
| ② 住民懇談会 | |
| 出席者 | |
| 国 | 9 |
| 県 | 2 |
| 市 | 3 |
| 住民 | 50 |

| 主な意見 |
|--|
| <p>【治水対策について】 最近の台風による被害を見ると、筑後川は大丈夫なのか心配である。安全な整備をお願いしたい。</p> |
| <p>【昭和28年水害について】 S28災時は大雨で朝5時に目が覚めた。大雨で堤防の半分まで水があがり、高良川が1時間も経たないうちに切れ、あっという間に家の2階部分まで水高があがった。首まで水に浸かりながら牛を連れ、神代橋に避難したのが午後15時30分頃だった。あの経験は一生忘れない。</p> |
| <p>【河川環境について】 下弓削川は澱んでいて水が流れず臭いにおいがする。筑後川の水を流して浄化することはできないだろうか。池町川に水を流せて、なぜ下弓削川にはできないのか。(過去に要望有り) 除草の野焼きをやめて堆肥に利用できないだろうか。 S28災以前は河川敷で野菜を作っていた。河川敷で野菜や花を植えれば雑草も減るのではないか。</p> |
| <p>【河川空間の利用について】 昔の筑後川にはロマンがあった！以前は宮の陣橋上流に貸しポート屋があり利用していた。砂場(砂浜)が川幅の半分ほども有り、対岸に渡るのも容易にできた。草を刈り、街灯やベンチを設置すれば、恋人達が訪れ恋を囁くことが出来る。 どの橋も交通渋滞が激しい。橋梁付近を立体交差(高水敷きに回す)にして欲しい。 堤防道路の幅を2倍に拡幅して欲しい。 くるめウス前の船着き場付近の高水敷きを早急に整備して欲しい。樹木が繁茂しすぎている。 二千年橋付近は野球場などきれいに整備され利用しやすい。</p> |
| <p>【その他】 雨が降ると堤防側から田畑に雨水が流れ込んでくる。水路を整備して排水条件を整えて欲しい。 小森野床固めに水車を設置して水力発電に活用できないだろうか。 原鶴から下流の下水道整備を進めて欲しい。</p> |

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.63

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月25日(月)に中央公民館(三井郡北野町)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、9名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 北野町

1. 代表者懇談会
2. 住民懇談会

| 出席者 | |
|-----|----|
| 国 | 12 |
| 県 | 3 |
| 町 | 2 |
| 住民 | 9 |

『今日の一言』

筑後川流域を動脈として周辺地域の連携・活性化が必要！

主な意見

【治水対策について】

昭和28年の災害を経験している。現在の堤防は、どのくらいの雨に対して大丈夫なのか知りたい。(昭和28年災害時の雨量(531mm - 48時間雨量)でも大丈夫なように整備を進めている。堤防必要区間は286kmだが、完成36.2%、余裕不足32.2%、未改修31.6%となっており、集中豪雨があった場合決して安全とは言えない。)

【環境対策について】

神代橋付近には大きな樹木があるが、大城橋付近にはない。神代橋付近は樹木のせいで河道が狭くなっていて危険に感じる。環境面を配慮してのことかもしれないが、ある程度の伐採は行ってもよいと思う。筑後川の護岸整備は、日本住血吸虫病の根絶のためになされた背景もある。吸虫病の中間宿主である宮入貝は北野町(大刀洗水系)にも生息していた。川に寄りつきにくい場所が多く感じる。階段護岸などを設けるなど川に近づきやすくして欲しい。今の護岸は人と川を切り離してしまっている。

【河川管理について】

交通渋滞の緩和、堤防の強化を兼ねて、兼用道路の幅員を拡幅してはどうか。今の幅員では大型車が来た時に離合できず、非常に危険である。北野町での不法投棄は多くはないが、草が生い茂っているところにはやはりゴミがあるため、除草は徹底して行うべきである。

【その他】

親水の場を増やすべき。また、水に親しむ一方法(冒険心の育成)として小学生を対象としたボート下り等の企画を行いたい。山の保水能力の強化(緑のダムづくり)を行うために漁業者、農業者そして一般の人も参加して緑のダムづくりを考えていかなければならない。筑後川流域を動脈として周辺地域の連携・活性化、地域の特性を活かした地道な活動が将来的に必要である。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 64

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月26日(火)に三花公民館(日田市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
11名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 日田市

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

出席者

| | |
|----|----|
| 国 | 8 |
| 県 | 2 |
| 市 | 2 |
| 住民 | 11 |

主な意見

【治水対策について】

花月川の財津橋から明德橋までは、50年前の水害時とほとんど変わっていない。
まず堤防を整備し、その後環境や利用を考えてた整備を行って欲しい。
28年水害の時、明德橋上流左岸は破堤した。
花月川では、40mm/hの降雨で水位が上昇したとの実感できる。

【利水について】

今後、筑後川は北部九州の水がめとして取水量が増えていくと思われる。利水計画検討が必要である。

【河川利用について】

岡本橋上流、地蔵元橋下流の危険箇所の補強だけでなく、毎日の生活に密着し、利用しやすい整備を行う時となっている。財津橋周辺の整備を早くして欲しい。
山渡瀬橋から坂本橋の間は石垣が急で河川に降りる場所がない。水に親しむということから安全に河川に近づける施設(階段等)が欲しい。
堤防に桜を植えて欲しい。

【河川管理について】

セイタカワダチ草が繁茂してジャングルのようになる。適宜除草を行って欲しい。
(除草の目的及びアダプトプログラムについての説明をいたしました)
河川管理カメラをインターネットで見られるようにして欲しい。

【整備の連携について】

河川・道路の整備の連携を図ってもらいたい。明德橋の架け替えは完了しているが、道路が繋がっていない。
環境問題で有明海の汚濁が挙げられているが、山林の環境問題と繋がっていると思われる。
関係機関が連携を図り、問題解決をしていただきたい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.65

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

10月29日(金)に関地区集落センター(日田市夜明地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、17名の住民の方から活発な意見が出されました！！

| | |
|-----|-----|
| 地域名 | 日田市 |
|-----|-----|

| |
|-----------|
| 1. 代表者懇談会 |
|-----------|

| |
|----------|
| ②. 住民懇談会 |
|----------|

| 出席者 | |
|-----|--|
|-----|--|

| | |
|---|----|
| 国 | 10 |
|---|----|

| | |
|---|---|
| 県 | 1 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 市 | 2 |
|---|---|

| | |
|----|----|
| 住民 | 17 |
|----|----|

『今日の一言』

昔は渡し船があり非常に情緒があった！

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昭和28年災害の時にはJR鉄道橋のところまで水位が上がり、4軒ぐらいが浸水した。松原・下釜ダムができてからは災害がなくなった。夜明ダムの完成後なくなってしまったが、昔は渡し船があり非常に情緒があった。ダム湖面の有効利用を今後考えていくべきだ。

【環境対策について】

夜明ダム直下から発電所までの区間はほとんど水が流れていないため、川とは言えない状況になってしまっている。九電と調整して水量を増加して欲しい。

最近魚が小さくなってしまった。カニ等はまったく姿を見なくなった。環境整備(魚道等も含めて)を進めて豊かな自然環境を取り戻さなければ、子どもたちの遊び場は無くなってしまおう。

川にヨシ等が繁茂し川に近づけない。ヨシは根を張るため石が隠れてしまっている。さらに出水の度に土砂がその上を覆うため、石が見えなくなってきた。堆積した土砂を除去するなどできないものか。

福岡県の方は川が綺麗だが、大分県に入るとダム周辺が非常に汚い印象を受ける。河川敷内に歩道を設け、保木沈橋付近を整備する等、景観や川の利用に配慮した整備をして欲しい。

夜明ダムに貯まるゴミの多さには驚かされる。ゴミは上から流れてくるものであり、上流からの対策を講じる必要がある。

【その他】

夜明地区を通る国道386号は幅員が狭いうえ、歩道もなく非常に危険である。河川と道路の管理者で調整して道路の拡幅をして欲しい。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 66

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

11月2日(火)に柴刈校区公民館(田主丸町)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、46名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 田主丸町

1. 代表者懇談会
- ② 住民懇談会

出席者

| | |
|----|----|
| 国 | 8 |
| 県 | 0 |
| 町 | 2 |
| 住民 | 46 |

『今日の一言』

川は危険な所であるが、本来は楽しい所である！

主な意見

【堤防道路について】

堤防道路を拡幅し利用しやすくしてほしい。

【河川景観について】

両筑橋から下流には自然がそのまま残されている。保全してほしい。

多くの人々が集う”川の宿”や”川の駅”を片ノ瀬公園、自然公園、大久保の浜などに作ってほしい。

河川敷の利用について、両筑橋から筑後川橋の間の名所に立て札を立ててほしい。鬼ゴロシ、八幡の山八幡の浜の一揆、床島の渡しなど

両筑橋から片ノ瀬までの河川敷利用を進める上で、自然をそのままに生かした公園を整備してほしい。

両筑橋下流の樹木を生かしたオートキャンプ場、アスレチック公園など。

【河川管理について】

以前の河川敷はゴミが多くて汚なかった。現在は行政と連携してゴミ対策に取り組んでいる。そのおかげで大変きれいになった。一人一人が気を付けることが大切である。

地域で除草をしたいと役場と協議しているところである。今後も精力的に取り組んでほしい。

【水質について】

皆さんが使っている排水口が筑後川に流れ込む水源と考えればよい。排水口をきれいにすることが大切。

今は、水路に水を流さないで用水路を溜め升状態にしている。

【環境学習について】

川で遊んだ経験のある人が、筑後川のことを子どもや孫に伝えていくことが大切。

今の子ども達は、今の筑後川が筑後川と思っている。私たちが遊んだきれいな筑後川をどのように子ども達に伝えていくかが問題である。

子ども達を川から遠ざけたのは大人達だ。川は危険な所であるが、本来は楽しい所である。このことを子ども達に伝えていきたい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.67

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

11月8日(月)に三芳公民館(日田市三芳地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、16名の住民の方から活発な意見が出されました！！

| | |
|-----|-----|
| 地域名 | 日田市 |
|-----|-----|

| |
|-----------|
| 1. 代表者懇談会 |
|-----------|

| |
|----------|
| 2. 住民懇談会 |
|----------|

| 出席者 | |
|-----|----|
| 国 | 11 |
| 県 | 1 |
| 市 | 2 |
| 住民 | 16 |

『今日の一言』

川は故郷の象徴だった！

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔は小淵橋上流では、祭りの時は船が出て船上で芸者が三味線を弾いていた。また、6月になるとたくさんの鯉が産卵に来ていたし、水量も非常に豊富だった。やはり水郷日田の名前のとおり、昔のような豊富な水量を確保して欲しい。

子どもの頃と比べると確かに護岸は良くなった。しかし昔は砂があり浅瀬があったので川と水と親しむことができた。

魚の種類が減ってきた感じがする。昔は鮎、ハヤ、オヤニラミ、カジカ、ドンコ、ギギ、カマツカ等、たくさんの魚が生息していたが、今ではあまり姿を見なくなった。

【治水対策について】

小淵橋付近の河川敷は今まで何度も洪水にあったが、現在では立派に整備されておりよく利用している。しかし、小淵橋上流(日高町)の水衝部に当たる道路は、道路部分を改築しただけで堤防整備は行われていない。さらにコンクリートがひび割れ、増水の度に不安になる。今後計画を行う時はぜひ考慮して欲しい。

【環境対策について】

水が増水したとき上流から木切れ等が流れてくる。その結果、木切れが草の中に堆積する。また、草の中にゴミを捨てる人がいるので、住民管理ではゴミ処理に追いつかない状況である。亀山公園から210号線に沿って散歩している人が大勢いるので、安全に散策ができるような護岸整備をして欲しい。

小野の自然プールのような安心して泳げるところが欲しい。昔は自然の川に飛び込んで遊んでいた。今はそのような子どもがいない。人工プールではなくて自然の川で泳がせたい。安心のできる河川プールを作れば子どもが川を好きになる。また、その子どもが大人になることで川を愛する人になる。

川・水はさまざまな要素を含んでいる。その一つとして考えられるのが子どもが楽しめる場所。今年は隈地区に「台霧の瀬」が完成したが、三芳地区にも「台霧の瀬」のような川と親しめるせせらぎが欲しい。

【その他】

川は故郷の象徴だった。大人も子どもも遊べる「親しみやすい筑後川」を頭に入れて、何か知恵を出して欲しい。今は、川に行けば危ないというイメージばかりである。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.68

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

11月9日(火)に上手町公民館(日田市西有田地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 日田市

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

出席者

| | |
|----|----|
| 国 | 12 |
| 県 | - |
| 市 | 2 |
| 住民 | 4 |

『今日の一言』

住民には川をきれいにしなければならないという意識はある！

主な意見

【災害時の記憶】

昭和28年水害の時、家の裏から浸水してきたため、日田駅へ避難した。坂本橋の少し上流で堤防が破堤して、ほとんどの地域で床下浸水し、ひどい所は床上浸水を被った。

昭和57年の出水の際にはそれほど水位は上がらなかった。しかし、昭和55年の出水では堤防道路の高さと同じ位、河川の水位が上昇していた。

【昔の筑後川の思い出】

昔は川に砂があり、遊びながら泳げる川であった。しかし、現在の川では泳ごうという気持ちにはならない。

昔、北部中学校の前で川をせき止めて魚をとって遊んだものだ。アカハチ、ギユギユなどいろいろな魚がいたが、今は川に行っても魚をあまり見なくなった。川の汚れもその一因だろうが、一時期に比べると河川はきれいになっているように思う。

【環境について】

草刈の時期を考えて欲しい。例えば、夏休み前に刈って子どもたちが水辺に近づきやすくしたらどうか。

確かに植生は変化している。昔にくらべるとヨシが増えてしまい、子どもが河川に近寄れなくなってしまった。

慈巖山付近の水辺公園は、子どもがたくさん遊ぶようになった。遠足の場所としても利用されていて、たいへん喜ばしいことだ。

合成洗剤をなるべく使わないように心懸けている人も多く、住民には川をきれいにしなければならないという意識はあると思う。また、市民活動としてNPO(日田水環境ネットワーク)では、合成洗剤を使わないよう呼びかける活動をしている。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL. 69

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

11月10日(水)に高瀬公民館(日田市高瀬地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、18名の住民の方から活発な意見が出されました！！

| | | |
|------------------|-----|----|
| 地域名 | 日田市 | |
| 1. 代表者懇談会 | | |
| ②. 住民懇談会 | | |
| 出席者 | | |
| 国 | | 9 |
| 県 | | 2 |
| 市 | | 2 |
| 住民 | | 18 |

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔、川は住民の生活と密着していた。川で米を洗い、食べ終わったあと食器も洗っていた。堤防がきれいに整備され、安全にはなったが、川に近づきにくくなった。

【治水対策について】

昭和28年水害では48時間雨量で513mmとのことだが、仮に今、同程度の降雨があった場合どうなるのか。(28年と同程度の降雨に耐えるように整備するのが最終目標であり、現在はまだ達成されていないため、どこかで越水してしまう可能性は高い。)

【環境・管理対策について】

高瀬川(県管理)の上流に高瀬川ダムが建設されてから、農業用水が容易に取水できるようになった等の良い面はあるものの、川はやはり汚くなってしまった。昔は水がきれいで飲むことができるほどの清流で、よく泳いだものだし、魚もたくさんいた。現在、「高瀬の清流を取り戻す会」を結成し、さまざまな活動を行っている。清流復活のひとつの方策として「清流バイパス」を建設することを要望している。県管理なので国は直接関係ないかもしれないが、水利権等も絡んでくるので認識を持っておいてほしい。

川沿いを散歩すればわかるが、木陰がなく休憩するところがないので、風景を眺めることのできる場所、花火大会の時に観覧できるような、階段式の広い座ることのできる堤防を整備してもらいたい。

三隈堰付近はヘドロが堆積しているために川の流れがない。可動堰にすれば川に流れが生まれ、本来の川の姿に戻っていくのではないかと。

右岸側の旅館街は散歩道路があるが、小淵橋までしか整備されていないため、小淵橋から沈み橋を渡り、左岸側の高瀬川を横断して、河川沿いを三隈橋まで行けるような散歩路の整備をお願いしたい。

昔は、大山川で泳いだり魚釣りをして遊んでいた。しかし、今はヨシが繁茂して川に近寄れない状況にある。大山川と玖珠川の合流点にある広い河川敷を久留米のように広い芝生広場等のように整備を行えば、川に人が戻ってくると思う。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.70

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

11月12日(金)に坂井町公民館(日田市西有田地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、14名の住民の方から活発な意見が出されました！！

| | |
|-----------|-----|
| 地域名 | 日田市 |
| 1. 代表者懇談会 | |
| ②. 住民懇談会 | |
| 出席者 | |
| 国 | 8 |
| 県 | 2 |
| 市 | 1 |
| 住民 | 14 |

主な意見

【治水対策について】

支川の株谷川(県管理)はまだ改修が行われていないので、早急な整備をお願いしたい。雨が降るたびに農作物が毎年被害を受けている。

【環境対策について】

昔は、鮎、鯉、イダ、フナ、ギユギユウ、アカハシ、カマツカ、ハエなどがいた。現在では魚の種類が減少した。これは家庭・畜産関係の排水が原因だと思う。
昔は財津町の堤防沿いに桜があり、川でもよく泳いだものだ。堤防に桜並木を植え、子どもたちが泳いだりして遊べる施設や、環境に配慮した慈蔵山公園のような施設を整備してほしい。
川がコンクリートで整備されて近づきにくくなり、子どもが水に親しむ機会がなくなってしまった。「台霧の瀬」のような整備を行えば、子どもたちも川に戻ってくるだろう。
坂本橋付近の左岸側は堆砂しやすいようなので、この状況を活かして公園を造ってほしい。また、最近では蛸がたくさん出るようになった。これは水がきれいになったことの証明だろう。
昼間に散歩される年配の方が増えている。できれば木陰をつくる意味でも桜やもみじ等を植えてほしい。
魚が少なくなった原因の一つは、魚の棲みやすい場所が減ったこともあるだろう。木と玉石を使った石畳(木工沈床)を設置すれば、魚にとっても良い環境が取り戻せるのではないか。

【その他】

最近、花月川の水はきれいになったし、水量も増えたように思う。これは上流の下水道整備や、風倒木対策のおかげだろう。山の保水能力が高まったことで、一気に水が流れてくることも少なくなった。
川が汚くなったのは、山の開発が原因ではないか。上流で開発が進むと川に影響を与え、魚も減ってしまう。むやみに開発を進めることは避けるべきだ。

住民懇談会の様子

